

令和 8 年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和 8 年 6 月 14 日（日）午前 10 時 30 分～正午

開催場所：笠間市役所 本所 2-6 会議室

出席者：14 名

《意見交換》

- 1 県立中央病院の移転について
- 2 A I 中心の医療について
- 3 法律の周知について
- 4 市道の整備について
- 5 電柱の移設について
- 6 市道（友）2121 号線の区画線について
- 7 学校の樹木の剪定について
- 8 農道の拡幅について
- 9 子育て支援と保護者の負担について
- 10 中高一貫校の誘致について
- 11 太陽光発電設備敷地周辺の管理について
- 12 空家対策について
- 13 災害対応力強化事業について
- 14 地下シェルターの整備について
- 15 広域観光について
- 16 太陽光発電設備について
- 17 信号機について
- 18 ペロブスカイト太陽電池と蓄電池の活用について

1 県立中央病院の移転について

【意見等】

県立中央病院の移転は、多くの経済的損失が発生し、笠間・友部地区の衰退・過疎化が加速すると思う。現在、県立中央病院には約 1,000 人の方が働き、それに係る交通・飲食・住居などの経済活動が友部地区の基盤となっている。友部駅前活性化事業も形になってきていて、10 店舗ほどがオープンしているが、中央病院があるから出店したという声を聞く。県立中央病院の移転は県の意思決定ということだが、移転後の県立中央病院の跡地が畜産試験場跡地のようにになってしまうのであれば、県の土地であっても笠間市が戦略的に進めるべきであると思う。また、友部駅周辺はコンパクトシティとしての要素を完璧に備えているため、この時期に県立中央病院を郊外に持っていくことは意味がないとも感じている。

【回答】

移転については決定であり、場所が変更されることはない。約 1,000 人が県立中央病院で働いていることによる経済効果はあるため、移転により影響が出ることは想定できる。県立中央病院周辺で飲食などの商売をやっている方がいるため、関係者と意見交換をしながら考えていく。

また、友部駅周辺は、笠間市全体の中でも拠点化していかなければならない地域であり、都市計画を含めて見直しを図っていく必要がある。どこからスタートしていくか協議をしているところである。

2 AI 中心の医療について

【意見等】

10 年後の医療について、70%の外科手術はロボットによる手術になると思う。22 世紀の最先端医療の原点を笠間につくりたい。AI 技術の向上や県立 IT 未来高等学校に付随した大学をつくるなど、いろいろな選択肢があるので、ぜひ先頭に立って進めていただきたい。

【回答】

日本の医療技術は世界的にも進歩しているが、医療機器が高度化し、それを扱える技術者が不足している状況である。国内外の多様な人材の活用についても議論していくことになると思うので、個人的な考えであるが、医療に関わる人材育成のようなものが県立中央病院の跡地を活用してできればよいと思っている。看護学校や県立 IT 未来高等学校と連携し、AI を扱う技術者を育成するようなどころができると良いと考えている。

3 法律の周知について

【意見等】

創業の件で市役所などに相談したが、職員が法律を理解していないと感じた。法律を扱う部署が周知するなどしていないのか。

【回答】

法律を専門に扱う部署はなく、業務内容に応じて各担当課で対応している。市の制度で助けられるものもあるが、それ以上を行政として支援していくのは難しいこともある。

4 市道の整備について

【意見等】

家への進入路が公道でないと街灯や水道も対応できず、消防が来るにも不便である。また、田畑もたくさんあるため有効に活用できなくなる。市道として整備してほしい。

【回答】

地域の実情などを踏まえたうえで、地元要望を含めて判断する。

5 電柱の移設について

【意見等】

道路に電柱が立っているため、交通の便が悪くなっている場所がある。移設できないか。

【回答】

現地を確認する。移設により交通の安全と円滑が図られる場合は、対応を検討する。

6 市道（友）2121 号線の区画線について

【意見等】

市道（友）2121 号線（宍戸小学校前交差点から橋爪はなさか交差点まで）について、開通後 13 年が経過しており、センターラインと外側線が消えているため修繕してほしい。

【回答】

現地を確認する。センターラインなどの修繕対応は学校周辺などの優先順位はあるが、毎年一定の距離の修繕は行っている。計画に組み込むことができれば、可能な限り早く対応していく。

7 学校の樹木の剪定について

【意見等】

学校の樹木の剪定が部分的で不十分なところがあるため、対応してほしい。

【回答】

学校の樹木については強風により危険な場合もあるため、随時、枝払いや剪定を行っている。状況について、学校に確認する。

8 農道の拡幅について

【意見等】

農機具が大型化しているため、農道の拡幅が必要であると思う。農道の拡幅はできないか。

【回答】

農道の拡幅については、全く行わないわけではないが、ほとんど行わないのが現状。農作業だけでなく、生活道路になっているところもあり、そのようなところは地元からの要望や、隣接地権者からの用地提供などがあれば、対応する場合もある。

9 子育て支援と保護者の負担について

【意見等】

子育てをする世代の視点からすると、子どもが多いことが市の活気につながると思う。笠間市は子どもたちの支援に力を入れていて事業も行ってくれているが親が働いていると、送迎ができず参加できない。送りはデマンドタクシーが利用できても、迎えは各自家庭で対応ということもある。間に合わず利用できない。

子ども支援については、親の収入や労働環境、祖父母の支援の有無など親の条件にかかわらず、希望する子どもは市の支援を受けられる環境があるとありがたい。

【回答】

送迎については、市がすべて支援を行うことは難しい。デマンドタクシーを利用したり、主催者に送迎を検討したりしてもらうことが必要であり、主催者と市で、解決方法を話していくことが必要だと思う。

子ども支援について、以前は収入がひとつの境になっていたこともあるが、現在は収入を対象に支援の上限を決めるということはほとんどなくなった。具体的な支援策などがあれば、ご意見をいただきたい。

10 中高一貫校の誘致について

【意見等】

笠間市に中高一貫校を設置すれば、新たな魅力になり、他市町村から笠間に転入したいと思うのでは。

【回答】

転入を求める若い世代の判断材料のひとつに子育て環境・教育環境がどうであるかがあると思う。新たに私立学校を誘致することは難しいため、市としては、市内小・中学校の教育環境をしっかりとしていくことが大切であると思う。市立学校の統廃合を含めた新たな仕組みを作って教育環境を良くするために取り組んでいく。

11 太陽光発電設備敷地周辺の管理について

【意見等】

太陽光発電施設の業者は施設内の草刈りはするが、外の草は刈らない。地区の環境保全でやってくれない場合はどうすればよいか。

【回答】

除草については、原則、土地の所有者が行うこととなる。農地に関しては市内で複数の団体が、国の「多面的機能支払交付金」を活用し、草刈りなどを実施している。なお、実施エリアについては、各団体が決めて行っている。

12 空家対策について

【意見等】

隣の方が1年半ほど前に亡くなった。引き受ける方もなく、放棄の状態。空家対策はどうなるのか。

【回答】

国の法律に基づき、市で空家バンクなどの対策を行っている。相続放棄は手続きに則って行うが、放棄した場合に、国も市も受けないのが現状である。近くに親族が住んでいる場合には草刈りなどをしてくれることもあるが、遠くに住む場合は、放置されることが多い。通学路に指定されていたり、隣の家寄りかかって倒壊の危険があったりする場合には、市が草刈りを行ったり、代執行で建物を壊したりする場合もあるが簡単にはいかない状況である。

13 災害対応力強化事業について

【意見等】

令和8年度重点プロジェクトに掲げている防災対応力強化事業8,541千円は何か。

【回答】

避難所の防災備品などを充実させるもので、非常用食料品の備蓄などを行ったりするもの。

14 地下シェルターの整備について

【意見等】

笠間市は、東海第二原発30キロ圏内に入っている。いざというときに、逃げるところがなく、県内で整備を進めているところもないと思うので、笠間市が率先して地下シェルターの整備を進めてほしい。

【回答】

市で地下シェルターを整備する計画はない。ご意見として承る。

1 5 広域観光について

【意見等】

水戸線沿線にはお寺などがたくさんあり、観光として楽しめる。市単独で行うと限定的になるので、広域的なつながりで人を集めてほしい。

【回答】

笠間全体は観光要素がたくさんあり、もっと観光客を呼び込むことができていると思っている。水戸線を活用した観光では、酒蔵と連携した取り組みなど JR と一緒にやっているものがある。いただいたご意見は今後、検討していく。

1 6 太陽光発電設備について

【意見等】

10 年後、問題として顕在化するので、今から備えたほうがよい。脱炭素は国の支援も止まるのでやめたほうがよい。

【回答】

脱炭素については、環境省の事業として全国で 100 地域を脱炭素の先行地域として認定し、その中の一つに笠間市も手をあげて指定された。いろいろな取り組みがあるが、新たに山林や田んぼを開拓して太陽光発電を設置するのではなく、笠間芸術の森公園の駐車場にカーポートを整備しその上に設置したり、学校の体育館や校舎の屋根に設置したりしていこうとするもの。太陽光発電設備については、廃棄などの問題もあるので、計画の中に入れながら整備を進めていく。

1 7 信号機について

【意見等】

新しく開通した道を通して通学している。登校班の班長をしているが、青信号の時間が短く全員が渡りきれない。走らないといけなないので、青信号の時間を長くしてほしい。

【回答】

信号は警察の管轄なので、警察に伝える。十字路になっているため、車との関係もあって決めていくことになると思うので、すぐに結論は出ないかもしれないが要望を伝える。

補足情報：7 月 1 日、歩行者青信号の時間が延長されました。

1 8 ペロブスカイト太陽電池と蓄電池の活用について

【意見等】

ペロブスカイト太陽電池とあわせて蓄電池を活用してほしい。

【回答】

笠間市も全国の協議会の中で検討を進めている。